



Cisco Spaces: スペースの使用状況アプリケーションガイド

最終更新：2026年7月7日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスココンタクトセンター
0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2026 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章	概要 1
	Cisco Spaces : スペースの使用状況アプリケーション 1
	概要 1
	ライセンス要件 1
	前提条件 2
	スペースの使用状況アプリケーションの操作 2

第 2 章	インタラクティブマップ 5
	インタラクティブなマップ 5

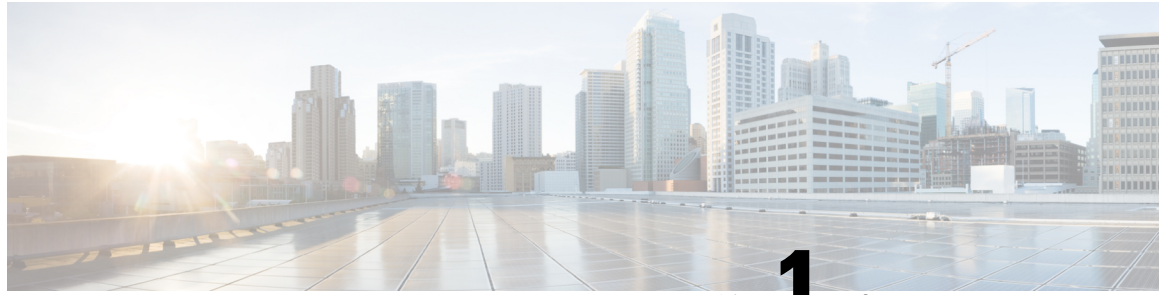
第 3 章	使用率ステータスの表示 7
	キャンパス使用状況レポートの表示 7
	建物使用状況レポートの表示 8
	フロア使用状況レポートの表示 9

第 4 章	使用率レポート 11
	使用率レポート 11
	レポートを作成 13

第 5 章	展開ステータス 17
	展開ステータス 17

第 6 章	ユーザー管理 21
	ユーザー管理 21

ユーザー招待の送信 22



第 1 章

概要

- [Cisco Spaces : スペースの使用状況アプリケーション \(1 ページ\)](#)
- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [ライセンス要件 \(1 ページ\)](#)
- [前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [スペースの使用状況アプリケーションの操作 \(2 ページ\)](#)

Cisco Spaces : スペースの使用状況アプリケーション

Cisco Spaces : スペースの使用状況アプリケーションは、物理的なスペースの使用状況に関する履歴情報を提供し、スペースを最適化するのに役立ちます。これらのインサイトは、スペース内の建物全体のネットワーキングおよびコラボレーションインフラストラクチャに統合されたセンサーを通じて取得したデータから得られます。

スペースの使用状況アプリケーションを使用すると、キャンパス、建物、またはフロア内の任意のスペースの占有率と密度を表示できます。この情報には、人数、ピーク時の使用状況、物理的なスペースでの滞在時間などのデータが含まれます。

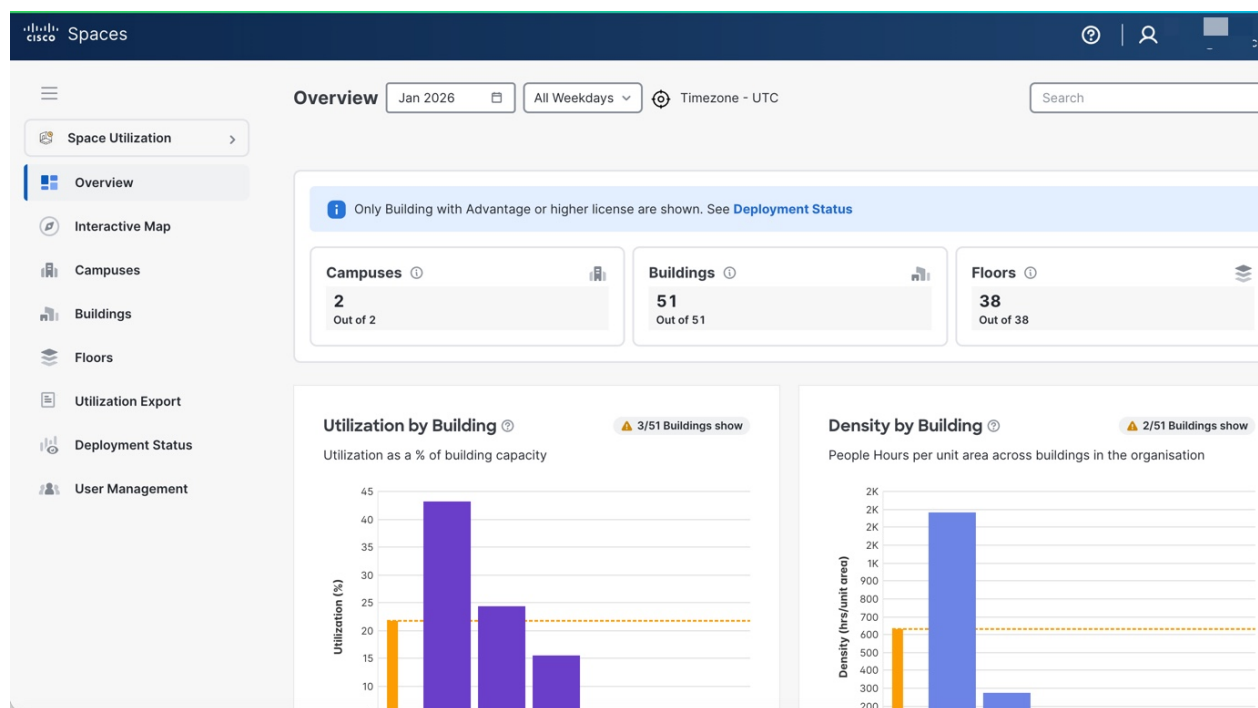
概要

このセクションでは、キャンパススペースがどのように使用されているかの概要レベルのスナップショットを示します。アクティブな Advantage レベルのライセンスがあるキャンパス、建物、フロアの数などの主要な使用率メトリックと、建物全体のキャパシティ使用状況が強調表示されます。スペースの可用性をすばやく把握し、使用率のトレンドをモニターして、展開またはデータの可用性に注意が必要な可能性のある場所を特定できます。

ライセンス要件

スペースの使用状況アプリケーションは、Cisco Spaces ACT および Cisco Spaces 無制限ライセンスに関連付けられています。

図 1: スペースの使用状況アプリケーション



前提条件

Cisco Spaces 展開が次の要件を満たしている場合は、スペースの使用状況アプリケーションを使用できます。

- Digital Maps Pro バージョンを実行し、会議室を定義する必要があります。
- Webex デバイスを使用して占有率をモニタリングする場合は、これらのデバイスを Webex Control Hub と統合する必要があります。
- Wi-Fi メトリックとインサイトを収集できるように、さまざまなワイヤレスネットワークで動作するよう Cisco Spaces を設定する必要があります。

スペースの使用状況アプリケーションの操作

[Overview] ウィンドウは2つの部分に分かれています。上部には、ネットワーク内の [Campuses]、[Buildings]、および [Floors] の数と、豊富なマップが統合されているこれらのスペースの数をすばやく表示するアイコンがあります。

下部には、建物の使用状況（1日の平均占有率（%））、密度（単位面積あたりの人時）、および部屋の使用状況（勤務時間中の時間（%））の傾向がグラフで表示されます。これらのグラフでは、ネットワークバーをクリックすると詳細なネットワークビューに移動できます。

このアプリケーションは、コラボレーションデバイス、ポータルビーム、PIRセンサー（Thingsee や Moko など）といったさまざまなソースからの稼働率データレポートをサポートします。

さまざまな期間のデータを表示するには、[Overview] ウィンドウの上部にある月や日のドロップダウンメニューで選択内容を変更します。

検索ボックスを使用して、定義された [Location Hierarchy] に従ってロケーションを検索できます。

[UI updates]

これらの強化によりユーザーナビゲーションが改善され、より直感的なインターフェイスが提供されました。

- **ダイナミックページタイトル**：ページタイトルとフィルタ処理が、選択したビューに基づいて自動的に更新されるようになりました。特定の建物またはフロアをすばやく識別し、どのフィルタが適用されているかを確認できます。
- **[Location] ドロップダウン**：[Location Selection] ドロップダウンリストが、使用の観点からウィンドウの右側に再配置されました。このフィルタ処理がビルディングビューとフロアビューの両方で使用できるようになり、場所をより効率的に切り替えられるようになりました。

スペースの使用状況アプリケーション ベータ版 UI の機能

ヒートマップ

スペースの使用状況アプリケーションに**ヒートマップ**が導入され、過去の使用状況の傾向と物理的スペースの使用率を可視化する新しい方法が提供されました。ヒートマップは3D デジタルマップの上に直接表示され、占有密度と使用パターンを没入型の方法で空間的に理解できます。

主なポイント

- **ヒートマップの可視化**：フロアレベルでの過去の占有密度を色分けして視覚的に表現し、3D デジタルマップ上に表示して、時間の経過とともにフロアのどの領域が最も利用されたか、または最も利用されていないかを把握できるようにします。
- **多次元分析**：各日、各曜日、または1日における各時間帯のヒートマップを表示して、傾向を把握し、さまざまな期間における占有パターンと使用傾向を分析します。

次の利点があります。

- 過去の使用率の低いゾーンと使用者の多いゾーンを特定します。
- 情報に基づきスペースの再配置または再設計を決定できます。
- 3D デジタルマップを使用した直感的なマップベースの表示により、従来のグラフ表示を補完します。
- 空間的インサイトを得てワークスペースの配置を最適化し、訪問者の体験を向上させます。

インタラクティブマップ

スペースの使用状況アプリケーションに **[Interactive Maps]** 機能が提供され、キャンパス、建物、フロアなどの場所をグローバルマップ上にすばやく直感的に地理的表示できます。この機能では、ダイナミックマーカーと色分けされたクラスターを使用して、占有率と使用率のメトリックが表示されます。これにより、迅速なインサイトを複数のレベルで得ることができます。

主なポイント

- ダイナミッククラスタリングにより、グローバル、キャンパス、建物、およびフロアレベルの視点をシームレスに切り替えられます。
- 人数、滞在時間、使用率などの主要なメトリックを色分けされたマーカーで表示します。
- スマートマップコントロール、ズーム、および情報パネルによりスペースを迅速に見つけられます。



第 2 章

インタラクティブマップ

- [インタラクティブなマップ \(5 ページ\)](#)

インタラクティブなマップ

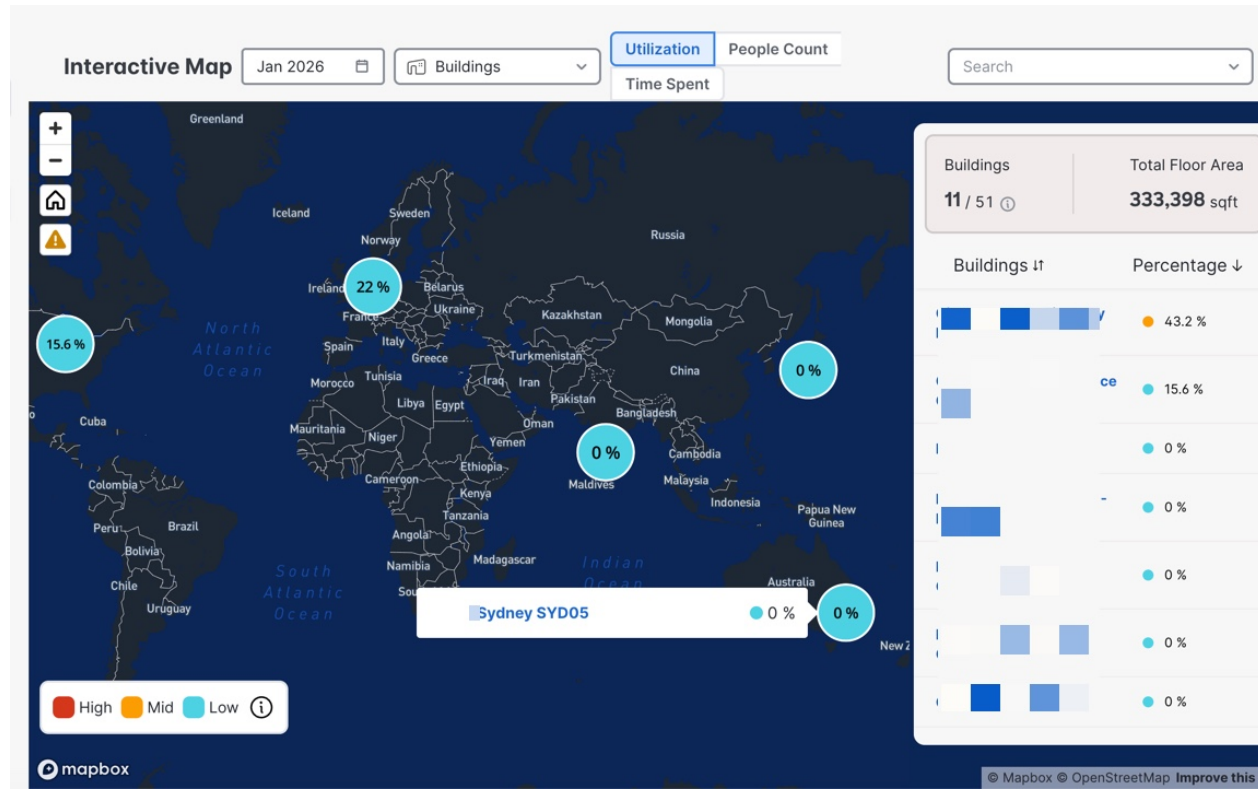
Cisco Spaces の **[Interactive Maps]** セクションでは、さまざまなキャンパス、建物、フロアのスペースの利用状況を可視化して分析するためのダイナミックなマップベースのインターフェイスがユーザーに提供されます。このマップツールでは、リアルタイムデータと過去のデータを活用して、さまざまな場所で費やされた人数や時間などのメトリックを表示することで、効果的なワークスペース管理と計画をサポートします。

このマップはインタラクティブで、包括的な分析のための複数の使用率メトリックをサポートしています。

主な機能

- **[Map Navigation]** : マップ上の特定の地域をズーム、パン、および選択して、施設の詳細を調べることができます。
- **[Filtering Options]** : このインターフェイスでは、日付（2025 年 11 月など）、ロケーションのタイプ（建物など）、および使用率メトリック（人数や滞在時間など）でフィルタリングできます。
- **[Search Functionality]** : 検索バーを使用すると、特定のキャンパス、建物、またはフロアをすばやく見つけることができます。
- **[Data Visualization]** : 地理マップ（Mapbox および OpenStreetMap を搭載）のオーバーレイを利用して、実際のロケーションとその使用率統計を表します。
- **[Summary Panel]** : 選択した建物数と合計フロアエリアのスナップショットを表示します。データを使用できない場合は、通知が表示されます（例：「建物のデータを使用できません」）。

図 2:インタラクティブマップ





第 3 章

使用率ステータスの表示

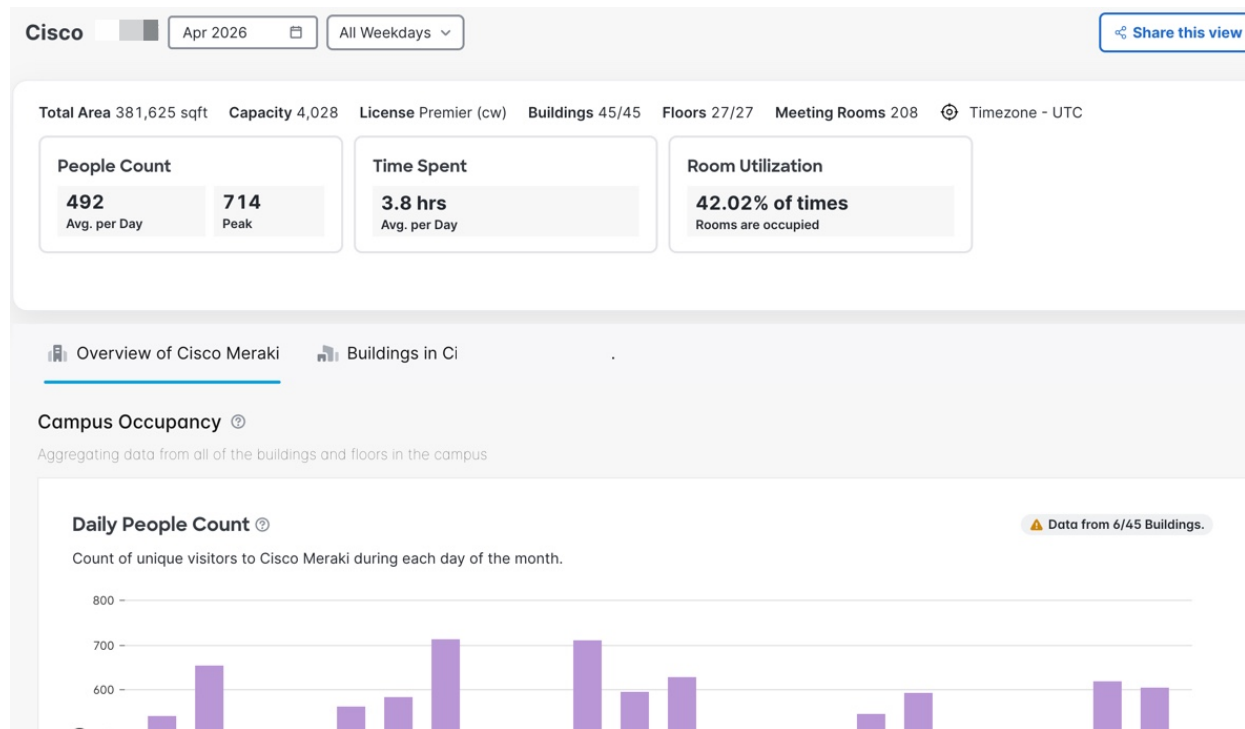
- [キャンパス使用状況レポートの表示 \(7 ページ\)](#)
- [建物使用状況レポートの表示 \(8 ページ\)](#)
- [フロア使用状況レポートの表示 \(9 ページ\)](#)

キャンパス使用状況レポートの表示

手順

-
- ステップ 1** スペースの使用状況アプリケーションの左側のナビゲーションメニューで、[Campuses] を選択します。
さまざまなキャンパスをリストしたテーブルが表示されます。

図 3: Campus Reports



ステップ 2 ウィンドウの上部にある月と日のドロップダウンメニューから期間を選択します。

ステップ 3 [Search] を使用するか、テーブル内の名前をクリックして手動でキャンパスを選択します。
[Campus Details] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [Overview] タブまたは [View by Buildings] タブを選択して、キャンパスまたは建物レベルのスペース使用状況を把握します。

- [Overview] : キャンパスの [People Count]、[Time Spent]、および [Room Utilization] の概要が表示されます。
- [View by Buildings] : 建物内のスペースの使用状況、人数、滞在時間、人時、密度の傾向を示すグラフが表示されます。

建物使用状況レポートの表示

手順

ステップ 1 スペースの使用状況アプリケーションの左側のナビゲーションメニューで、[Buildings] を選択します。
さまざまな建物をリストしたテーブルが表示されます。

- ステップ2** ウィンドウの上部にある月と日のドロップダウンメニューから期間を選択します。
- ステップ3** [Search] を使用するか、テーブル内の名前をクリックして手動で建物を選択します。
[Building Details] ウィンドウが表示されます。
- ステップ4** [Overview] タブまたは [Floors in Building] タブを選択して、建物またはフロアレベルのスペース使用状況を把握します。
- [Overview] : 建物の [Peak Utilization]、[People Count]、[Time Spent]、および [Room Utilization] の概要が表示されます。
 - [Floors in Building] : フロアのスペースの使用状況、人数、滞在時間、人時、密度の傾向を示すグラフが表示されます。

フロア使用状況レポートの表示

手順

-
- ステップ1** スペースの使用状況アプリケーションの左側のナビゲーションメニューで、[Floors] を選択します。
建物のリストと、選択した建物内のさまざまなフロアをリストしたテーブルが表示されます。
- ステップ2** ウィンドウの上部にある月と日のドロップダウンメニューから期間を選択します。
- ステップ3** [Search] を使用するか、テーブル内の名前をクリックして手動で建物を選択します。
[Floor Details] ウィンドウが表示されます。
- ステップ4** [Overview] タブまたは [Heat Map] タブを選択して、フロアまたは部屋レベルのスペース使用状況を把握します。
- [Overview] : 建物の [Peak Utilization]、[People Count]、[Time Spent]、および [Room Utilization] の概要が表示されます。
 - [Heat Map] : フロアのさまざまな部屋について、毎日の使用状況、時間帯別または曜日別の人数、曜日別の人時の傾向を示すグラフが表示されます。
-



第 4 章

使用率レポート

- [使用率レポート \(11 ページ\)](#)
- [レポートを作成 \(13 ページ\)](#)

使用率レポート

Utilization Reports 機能を使用して、レポート経由で使用率データをエクスポートします。**Utilization Reports** セクションでは、スペースの使用状況アプリケーションで使用率レポートを作成、表示、およびダウンロードできます。以前に作成されたレポートが、場所の範囲、レポート期間、完了ステータス、およびダウンロードアクセスとともに一覧表示されます。

主な機能

- 選択したロケーションおよび期間のエクスポート可能な使用率データを生成するには、新しい使用率レポートを作成します。
- 既存のすべてのレポートを、主要なメタデータ（レポート名、ロケーション範囲、レポート期間）とともに単一のリストで表示します。
- **[Last completed period]** を使用してレポートの準備状況を追跡し、出力が利用可能かどうかを確認します。
- レポート行エントリからオンデマンドで直接レポート出力をダウンロードします。

既存のレポートを表示することも、新しいレポートを作成することもできます。

図 4: 使用状況レポート

Report Name	Locations	Report Type	Last completed period		
Report 2497		2026-01-01 - 2026-02-04	N/A	Download	...
Report 2465		FO12/5th 2023-12-31 - 2024-01-30	N/A	Download	...
Report 2473		2026-01-27 - 2026-01-30	N/A	Download	...
Report 2471		FO12/2nd 2026-01-19 - 2026-01-26	N/A	Download	...
Report 2463		FO12/4th 2025-12-01 - 2025-12-31	N/A	Download	...
Report 2453		Occupancy 2025-09-01 - 2026-01-12	N/A	Download	...
Report 2451		FO12/1st 2025-11-01 - 2025-11-30	N/A	Download	...
Report 2163		WEEKLY	02/01/26	Download Recent	...
Report 2162		WEEKLY	02/01/26	Download Recent	...

[Utilization Reports] ページには、次の詳細が含まれます。

表 1: 使用状況レポート

フィールド	説明
レポート名	レポートエントリを特定し、リンクされた名前 (Report 2497 など) を選択して詳細を開きます。
ロケーション	レポートに含まれているロケーション範囲を表示します (多くの場合、キャンパス/建物/フロアのパスとして表示されます)。
レポートタイプ	レポートの対象となるレポートのタイムフレームを表示します (たとえば、2026-01-01 ~ 2026-02-04 などの日付範囲を表示します)。
最終完了期間	レポートが正常に完了した最新の期間を表示するか、完了した出力がまだない場合に N/A を表示します。

フィールド	説明
Cisco IOS XE SD-WAN リリース 16.12 以前の	クリックすると、レポートエントリ用に生成されたレポート出力ファイルがダウンロードされます。
その他のオプション (...)	[Edit] および [Delete] オプションが含まれます。

レポートの表示

既存のレポートを表示するには、[Report Name] をクリックすると、使用率データが表示されます。次の詳細を確認します。

- ワークスペース
- 日時
- インターバル開始時間(ローカル)
- 建物
- フロア
- キャパシティ
- ピーク時の人数

次の追加タスクを実行します。

- [Edit] : クリックしてレポートを編集し、再生成します。
- [Download] : クリックしてレポートをダウンロードします。

レポートを作成

[Create New] を使用して、ロケーション範囲とレポート期間を選択し、新しい使用率レポートを定義します。

[Utilization Reports] 機能を使用すると、特定の場所と期間の使用率レポートのエクスポートを作成し、完了を追跡し、結果をダウンロードしてオフラインで分析および配信できます。

新しいレポートを作成するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [Utilization Reports] ウィンドウで、[+ Create New] をクリックします。
[Report Parameters] ウィザードが表示されます。

ステップ 2 **[Report Level]** セクションで、**[Buildings]**、**[Floors]**、または **[Floors]** のいずれかをクリックして選択します。

ステップ 3 **[Next]** をクリックします。
[Locations] セクションが表示されます。

ステップ 4 左側のペインで、階層を展開して目的のロケーションに移動し、対応するチェックボックスをオンにします。

(注)

または、左側のペインで、目的の **[Building]**、**[Floor]**、または **[Room]** を検索することもできます。

選択したロケーションがペインの右側に表示されます。

ステップ 5 **[Next]** をクリックします。
[Date Range] ペインが表示されます。

ステップ 6 **[Select Date Range]** セクションで、占有率レポートの日付範囲を指定するか、頻度を選択することができます。

a) **[Specify Date Range]** : 一定期間のレポートが必要な場合は、このオプションを選択し、日付ピッカーから **[Start Date]** と **[End Date]** を選択します。

(注)

日付は、選択したロケーションのローカルタイムゾーンに基づいています。

b) **[Recurring Report]** : 定期的な占有率レポートを生成し、次のいずれかのオプションを選択して頻度を指定する場合は、このオプションを選択します。

- **[Weekly]** : このレポートには、最後に完了した週（日曜日から土曜日）のデータが含まれます。
- **[Bi-weekly]** : このレポートには、最後に完了した 2 週間のデータが含まれます。
- **[Monthly]** : このレポートには、最後に完了した月のデータが含まれます。

c) **[Reporting Time Interval]** を指定するには、**[15 minutes]**、**[30 minutes]**、または **[60 minutes]** のいずれかを選択します。

ステップ 7 **[Next]** をクリックします。
[Report Filters] ペインが表示されます。

ステップ 8 **[Report Filters]** ペインでは、占有率レポートの次の基準を指定できます。

a) **[Filter By Specific Day(s)]** では、特定の曜日または **[All Days of the Week]** を選択できます。

(注)

少なくとも 1 つの曜日を選択する必要があります。そうしていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

Atleast one day must be selected to generate a report.

b) **[Filter By Specific Hours]** では、**[Full Day (24 Hrs)]** を選択するか、**[Start Time]** と **[End Time]** を指定することができます。

- c) [Filter By Capacity of Room(s)] では、目的の部屋の収容人数を選択します。

(注)

少なくとも1つの部屋の収容人数のグループを選択する必要があります。そうしていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

At least one capacity group must be selected to generate a report.

- d) データがない期間のエントリを除外するには、[Skip Empty Rows] を選択します。

ステップ 9 [Create Report] をクリックします。

新しいレポートが生成されます。

次のタスク

[Utilization Reports] ウィンドウでレポートの詳細を表示します。



第 5 章

展開ステータス

- [展開ステータス \(17 ページ\)](#)

展開ステータス

スペースの使用状況アプリケーションの **[Deployment Status]** セクションでは、組織内のすべての建物とフロアにおける占有ステータスの統合された包括的なビューが表示されます。この機能により、施設のマネージャおよび管理者はスペース利用システムの展開状況や運用状況をモニターできるようになり、正確な占有率の把握とワークスペースの最適化が実現します。

このアプリは、展開状況に関するインサイトを提供します。アプリケーション内の主要なメトリック間にギャップが生じることがよくあります。これは通常、展開が不完全なことが原因です。たとえば、日別使用率グラフにはキャパシティ（設定）と稼働率データの両方が必要ですが、密度チャートには稼働率データに加えてエリアの仕様（設定）が必要です。

同様に、部屋の使用状況を効果的に追跡するには、デジタルマップを利用可能にし、これらのマップに定義された部屋にセンサーを接続する必要があります。**[Deployment Status]** セクションにアクセスすれば、不足している要素を特定し、それらのギャップを埋めるために必要なアクションを実行して、グラフとレポートを期待どおりに正確に生成することができます。

主な機能：

- フロアと部屋の占有率をモニタリングするための集中型ダッシュボード。
- ライセンスと設定に基づく建物とフロアのステータスインジケータ。
- 展開の準備状況タスク（ネットワークの接続、マップのアップロード、メタデータの設定）にすばやくアクセスできます。
- マップ、占有データ、キャパシティ、またはエリア情報が欠落しているフロアの詳細な内訳。
- 複数のロケーション間でのナビゲーションを容易にするための検索およびフィルタ機能。
- 適格なロケーションのみを表示するためのライセンスとの統合。

このセクションには、**[Floor occupancy]** と **[Room occupancy]** の 2 つのタブが含まれます。

図 5: 展開ステータス

Deployment Status

Stay informed and optimize your space with a single view of occupancy statuses for all buildings and floors.

Floor occupancy Room occupancy

Getting started with Floor occupancy

Floor occupancy is calculated with data from your wireless network

Connect your wireless network to spaces

Upload maps for your locations

Configure metadata for your locations

Floor occupancy status

All Buildings 51 buildings with 38 floors Buildings and floors with appropriate licenses	0/38 Floors without Maps These floors may not provide accurate occupancy data	28/38 Floors without Occupancy These floors will be excluded from the occupancy charts	31/38 Floors without Capacity These floors will be excluded from the % Utilization charts	24/38 Floors without Area These floors will be excluded from the Density charts
---	---	--	---	---

Only locations with or higher licenses are shown.

Search 38 Floors in 51 Buildings

Location ↑ Floors with Maps ⓘ Floors with Occupancy ⓘ Floors with Capacity ⓘ Floor area available ⓘ

フロア占有率

[**Floor occupancy**] タブを使用して、フロアの占有ステータスを表示します。フロア占有率は、ワイヤレスネットワークからのデータを使用して計算されます。

フロアの占有状況を開始するには：

1. Cisco Spaces にワイヤレスネットワークを接続。
2. ロケーションマップをアップロードします。
3. ロケーションのメタデータの設定。

[**Floor occupancy status**] エリアでは、次の詳細を表示します。

- すべての建物：適切なライセンスを持つ建物とフロアの数を表示します
- マップのないフロア：フロアのないフロアの数を表示します。これらのフロアでは正確な占有率データが提供されない可能性があります。
- 占有率のないフロア：占有されていないフロアの数を表示します。これらのフロアは占有率グラフから除外されます。

- キャパシティのないフロア：キャパシティのないフロアの数を表示します。次のフロアは使用率グラフから除外されます。
- エリアのないフロア：エリアのないフロアの数を表示します。これらのフロアは密度グラフから除外されます。

部屋の占有率

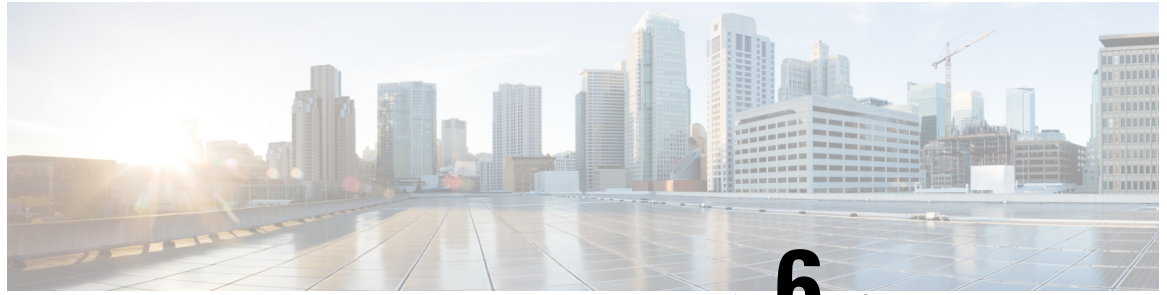
[Room occupancy] タブを使用して、部屋の占有ステータスを表示します。部屋の占有率は、IoT センサーからのデータを使用して計算されます。

フロアの占有状況を開始するには：

1. 部屋の占有率は、IoT センサーからのデータを使用して計算されます。
2. Cisco Webex コントロールハブに接続します。
3. Cisco Spaces : Space Manager で部屋を設定します。

[Room occupancy status] エリアで、次の詳細を表示します。

- すべての建物：適切なライセンスを持つ建物とフロアの数を表示します
- デジタルマップ Pro のないフロア：デジタルマップ Pro のないフロアの数を表示します。これらのフロアにはマッピングされている部屋がないため、占有率データは記録されません。
- センサーのない部屋：センサーのない部屋の数を表示します。次の部屋にはセンサーがないため、占有率データは記録されません
- データのない部屋：データのない部屋の数を表示します。これらの部屋については過去 2 週間のデータが記録されていません
- 予約なしの部屋：予約データなしの部屋数を表示します。次の部屋については過去 2 週間の予約データが記録されていません。



第 6 章

ユーザー管理

- [ユーザー管理 \(21 ページ\)](#)
- [ユーザー招待の送信 \(22 ページ\)](#)

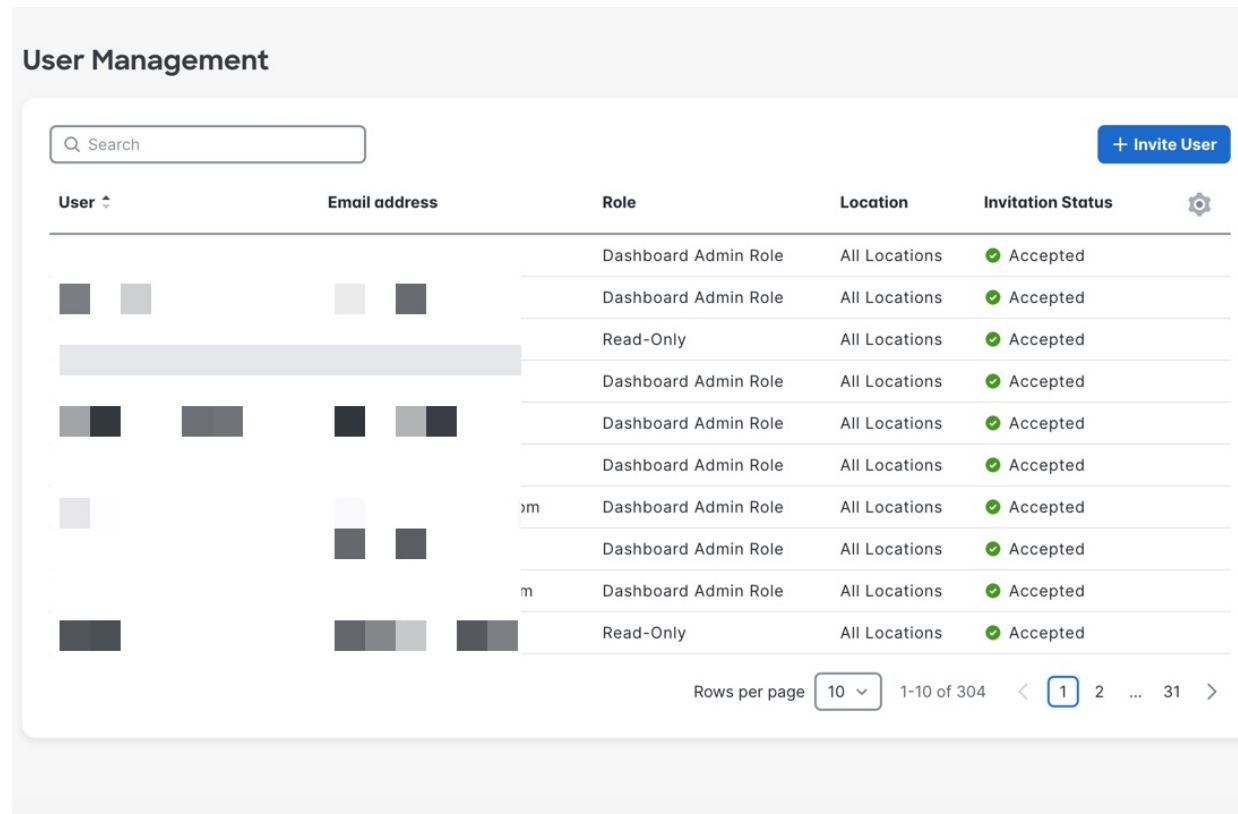
ユーザー管理

Cisco Spaces の **[User Management]** セクションでは、管理者はスペースの使用状況アプリケーション内のユーザーアクセス、ロール、および場所の権限を一元管理できます。この機能では、既存のすべてのユーザーを表示し、招待ステータスをモニターし、適切なロールを割り当て、新しいユーザーをアプリケーションに招待する機能を提供します。

主な機能

- 検索機能 : **[Search]** バーを使用して、すばやく検索とフィルタリングを行います。
- 電子メールのエントリ、ロールの選択、および場所の割り当てを含む新しいユーザー招待ワークフロー。
- ユーザー属性 : **[Name]**、**[Email]**、**[Role]** (読み取り専用ユーザー、ダッシュボード管理者ロール) 、**[Location]**、**[Invitation Status]** などのユーザーの詳細を表示します。
- ページネーション制御

図 6: ユーザー管理



ユーザー招待の送信

適切なロールとロケーション権限を持つ招待を送信して、新しいユーザーをスペースの使用状況アプリケーションに追加します。

この手順はスペースの使用状況アプリケーションに新しいユーザーを追加し、適切なアクセス権限を付与する必要がある場合に使用します。

手順

- ステップ 1 スペースの使用状況アプリケーションの左側のナビゲーションメニューから **[User Management]** セクションに移動します。
- ステップ 2 **[User Management]** ウィンドウで、**[Add]** をクリックします。
[Invite User] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3 **[Email]** フィールドに、ユーザーの電子メールアドレスを入力します。

- ステップ 4** **[Role]** ドロップダウンリストから新しいユーザーの適切なロールを選択します。オプションは、**[Read Write User]** および **[Read Only User]** です。
- ステップ 5** **[Select Locations]** をクリックして、ユーザーがアクセスできるロケーションを **[Choose Locations]** ポップアップウィンドウから選択します。
- アクセスを許可するロケーションに対応するチェックボックスをオンにします。
 - [Select Locations]** エリアで選択したロケーションの詳細を確認します。
 - [Select Locations]** をクリックします。
- ステップ 6** **[Send Invitation]** をクリックします。

新しいユーザー招待が正常に送信され、受信者は承諾するよう指示された電子メールを受信します。

次のタスク

新しく招待されたユーザーの詳細は、ユーザーが招待を受け入れるまで、**[User Management]** リストに **[Pending]** ステータスで表示されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。